

瑞牆山利用についての注意事項

瑞牆山でクライミングを行うにあたっては、以下の文をよく読み、内容を理解した上で、注意点を守り、十分な安全対策を行って、自己責任の元、ご利用ください。

[駐車場]

管理棟前の 100 台以上止められる大型駐車場などをご利用ください。また、クライマーは他の観光客などに比べて滞在時間が長いので、混雑するシーズンなどには、なるだけ駐車場の両端の方から停めるように配慮してください。

[トイレ]

これまで、用便の問題によって各地でアクセス問題が数多く発生している教訓を十分に踏まえてください。事前に済ませる、芝生広場のトイレまで戻る、もしくは携帯トイレを持参してください。

[ゴミ]

ゴミは必ずすべて持ち帰ってください。最近、足拭きマットの忘れ物が目立ちます。立ち去る際には、周りをよく確認し、忘れ物のないように気を付けてください。

[他の人への配慮]

瑞牆の自然を楽しんでいるのは、クライマーだけではありません。ボルダリングをしていると、思わず大声で叫んでしまいがちですが、自然を満喫している人から見れば静かな環境を乱す行為です。また、広場・駐車場の上のエリアは、思いのほか下まで声がよく通ります。クライマーの雄叫びに、事故か何かがあったと思って管理棟の人が駆けつけたという話もありますので、管理棟の人や観光客とトラブルのないように節度を持って行動してください。

[燃えた地図周辺]

「燃えた地図」の脇にある沢には、管理棟下のヘルシーランドキャンプ場の取水口があります。このため、沢および取水口には近づかず、また周囲を踏み荒らさないように気を付け、上記の注意事項を必ず守ってください。

[ブラッシング]

登り終わった後は、ブラッシングしてチョークを落としてから立ち去ってください。特にホールドの位置を示すティックマークは必ず掃除をしてください。

[キャンプ場の利用]

管理棟の回りが一張り 1000 円でキャンプ可能です。下記の注意事項を必ず守ってご利用ください。テントは管理棟の回りのみ可で、駐車場や芝生広場などには絶対に張らないでください。瑞牆ではキャン

プ指定地以外ではキャンプできません。

管理棟では飲み物や特産品、土産物などが買えるし、カレーパンやソフトクリームの他、蕎麦などの軽食もありますので、キャンプに限らず積極的なご利用をご検討ください。また、ヘルシーランド、グリーンロッジなどのキャンプ場や、五郎舎、増富温泉など近隣の宿泊施設のご利用も、合わせてご検討ください。

[キャンプ注意事項]

- 1、受付を済ませて、注意事項を確認してからテントを張って下さい。管理棟が閉店（定休日も含む）している際も料金箱（管理棟向って左の緑色の箱）に支払いをして下さい。
 - 2、夜間は電柵に電気が通ります。触れないようお願い致します。
 - 3、直火は禁止です。焚き火台、ガスコンロ、BBQ セットなどでの火器の使用をお願い致します。
 - 4、バイオトイレは現在故障中です。夜間は上の広場のトイレをご利用下さい。
 - 5、荷物の出し入れの際は、車をキャンプ場内に入れられます。場内を運転する際は十分に気をつけて、夜間は必ず駐車場に停めて下さい。
 - 6、ゴミはすべて持ち帰りです。
 - 7、炊事場は一ヶ所しかありません。譲り合ってご利用下さい。
 - 8、貴重品は必ず身に付けて下さい。
- みんなのキャンプ場です。きれいに使いましょう。

現在、管理棟ではキャンプの利用料金の改訂を検討中です。改訂次第、JFA のウェブサイトでお知らせしますので、利用の際にはご確認ください。

[国立公園の利用と保護]

瑞牆は秩父多摩甲斐国立公園内にあり、自然と触れ合うことを目的として国民に開放されています。クライミングも山菜やキノコ狩り、狩猟、オリエンテーリングなどと同様の利用として考えることができます。しかし、その一方で、自然公園法に基づいた自然保護のための規制があり、利用者一人一人が自然保護を意識する義務があります。必要以上に掃除したり、木を切ったり、下地を変えたり、その他著しく自然の形状を変化させることは許されていません。国立公園の美しい自然環境を維持し、瑞牆のクライミング持続させるために必要な配慮をお願いいたします

岩場および駐車場、公園内での事故や盗難について、日本フリークライミング協会、および自治体、管理棟では一切の責任を負いません。

日本フリークライミング協会
HP: www.freeclimb.jp
問い合わせ: info@freeclimb.jp